

主日礼拝

2026年3月29日
午前10時30分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「地とそこに満ちるもの
 世界とそこに住むものは、主のもの。
 主は、大海の上に地の基を置き
 潮の流れの上に世界を築かれた。
 どのような人が、主の山に上り
 聖所に立つことができるのか。
 それは、潔白な手と清い心をもつ人。
 むなしいものに魂を奪われることなく
 欺くものによって誓うことをしない人。
 主はそのような人を祝福し
 救いの神は恵みをお与えになる。」 (詩編 24:1~5)

頌栄 27 「父・子・聖霊」

ちち子せいれいのひとりの主よ、さかえとち
 からはただ主にあれ、とこしえまで。
 アーメン。

受難節のリタニー

《受難節第6主日》

司式者：私たちは群衆と同じように深く考えないで、
 不正の波にのったことがあります。これからは
 もっと、私たちにものを正しく見る目と、
 判断力を与えてください。

会衆：主よ、私たちがあわれみ導いてください。

司式者：群衆の「ホサナ」は すぐにまた「十字架に
 つける」に変わったことを思いつつ、この
 ろうそくを消します。(消火)

賛美 207-1,3 「ほめよ主よ」

We the Lord's people
 詞：John E. Bowers, 1929—
 DECATUR PLACE
 曲：Richard W. Dirksen, 1921—2003

1 ほめよ主を、われら主のため、
 3 この日こそよろこびうたえ。
 うたごえと ころろあわせ。
 創造の日よ、ふっかつの日、
 主はわれらを さいしと して
 せいれいの日よ、てんのうたへ
 まねかれる。
 地になる日。
 1 ほめよ主を、われら主の民、 3 この日こそ喜び歌え。
 歌声と心合わせ。 創造の日よ、復活の日、
 主はわれらを 祭司として 聖霊の日よ、天の宴
 招かれる。 地になる日。

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
 ねがわくは み名をあげさせたまえ。
 み国を来させたまえ。
 みこころの天になるごとく
 地にもなさせたまえ。
 我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
 我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
 我らの罪をもゆるしたまえ。
 我らをこころみにあわせず、
 悪より救い出されたまえ。
 国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
 なればなり。
 アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キリエ・エレイソン、キリエ・エレイソン、
 主よ、あわれみを。主よ、あわれみを。
 キリエ・エレイソン。
 主よ、あわれみを。

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン
 主よ、あわれみを 主よ、あわれみを 主よ、あわれみを

聖書 マルコによる福音書 15:21~41

新約(新共同訳)P95~P96

21 そこへ、アレクサンドロとルフォスとの父でシモンというキレネ人が、田舎から出て来て通りかかったのので、兵士たちはイエスの十字架を無理に担がせた。22 そして、イエスをゴルゴタという所——その意味は「されこうべの場所」——に連れて行った。23 没薬を混ぜたひどい酒を飲ませようとしたが、イエスはお受けにならなかった。24 それから、兵士たちはイエスを十字架につけて、その服を分け合った、だれが何を取るかをくじ引きで決めてから。25 イエスを十字架につけたのは、午前九時であった。26 罪状書きには、「ユダヤ人の王」と書いてあった。27 また、イエスと一緒に二人の強盗を、一人は右にもう一人は左に、十字架につけた。29 そこを通りかかった人々は、頭を振りながらイエスをののしって言った。「おやおや、神殿を打ち倒し、三日で建てる者、30 十字架から降りて自分を救ってみろ。」31 同じように、祭司長たちも律法学者たちと一緒に、代わる代わるイエスを侮辱して言った。「他人は救ったのに、自分は救えない。32 メシア、イスラエルの王、今すぐ十字架から降りるがいい。それを見たら、信じてやろう。」一緒に十字架につけられた者たちも、イエスをののしった。33 昼の十二時になると、全地は暗くなり、それが三時まで続いた。34 三時にイエスは大声で叫ばれた。「エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。35 そばに居合わせた人々のうちには、これを聞いて、「そら、エリヤを呼んでいる」と言う者がいた。36 ある者が走り寄り、海綿に酸いぶどう酒を含ませて葦の棒に付け、「待て、エリヤが彼を降ろしに来るかどうか、見ていよう」と言いながら、イエスに飲ませようとした。37 しかし、イエスは大声を出して息を引き取られた。38 すると、神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂けた。39 百人隊長がイエスの方を向いて、そばに立っていた。そして、イエスがこのように息を引き取られたのを見て、「本当に、この人は神の子だった」と言った。40 また、婦人たちも遠くから見守っていた。その中には、マグダラのマリア、小ヤコブとヨセの母マリア、そしてサロメがいた。41 この婦人たちは、イエスがガリラヤにおられたとき、イエスに従って来て世話をしていた人々である。なおそのほかにも、イエスと共にエルサレムへ上って来た婦人たちが大勢いた。

賛美 304 「茨の冠を主にかぶせて」

To mock your reign
詞：Fred Pratt Green, 1903
曲：イギリス伝統旋律
KINGSFOLD
曲：イギリス伝統旋律

1 いばらの冠を主にかぶせて、
2 むらさきのふくをむりにはいで、
3 あしのほうでつよくたたきつづけ、

「ユダヤ人のおう」と主をあざける。
わらいものにして主をあざける。
死においやるまで主をあざける。

かれらはそのときしらなかつた、
かれらはそのときしらなかつた、
かれらはそのときしらなかつた、

そのきずがわたしをいやすことを。
主がわたしのほしをおおうことを。
みくにはえいえんにつづくことを。

- 1 茨の冠を 主にかぶせて、
「ユダヤ人の王」と 主をあざける。
かれらはその時 知らなかつた、
その傷がわたしを いやすことを。
- 2 紫の服を 無理にはいで、
笑いものにして 主をあざける。
かれらはその時 知らなかつた、
主がわたしの恥を 覆うことを。
- 3 葦の棒で強く たたくつけ、
死に追いやるまで 主をあざける。
かれらはその時 知らなかつた、
み国は永遠に つづくことを。

説教 「沈黙と柔さの中の真の王」

賛美 306 「あなたもそこにいたのか」

Were you there
詞：アフロ・アメリカン・スピリチュアル
曲：アフロ・アメリカン・スピリチュアル
WERE YOU THERE
曲：アフロ・アメリカン・スピリチュアル

あなたもそこにいたのか、主が十字架についたとき。

き。 ああ、いま おもいだすとふかいふ

かい つみにわたし はふるえてくる。

- 1 あなたもそこにいたのか、
主が十字架についたとき。
ああ、いま思い出すと
深い深い罪に
わたしはふるえてくる。
- 2 あなたもそこにいたのか、
主がくぎでうたれたとき。
ああ、いま思い出すと
深い深い罪に
わたしはふるえてくる。
- 3 あなたもそこにいたのか、
主が槍でさされたとき。
ああ、いま思い出すと
深い深い罪に
わたしはふるえてくる。
- 4 あなたもそこにいたのか、
主を墓におさめたとき。
ああ、いま思い出すと
深い深い罪に
わたしはふるえてくる。
- 5 あなたもそこにいたのか、
主がよみがえられたとき。
ああ、いま思い出すと
深い深い愛に
わたしはふるえてくる。

派遣

- 司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
- 会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝禱

アーメン



後奏

司 式 泉 克行
説 教 向井 希夫牧師
奏 楽 大代 恵